

自動運転基礎知識その2 (R2.1)

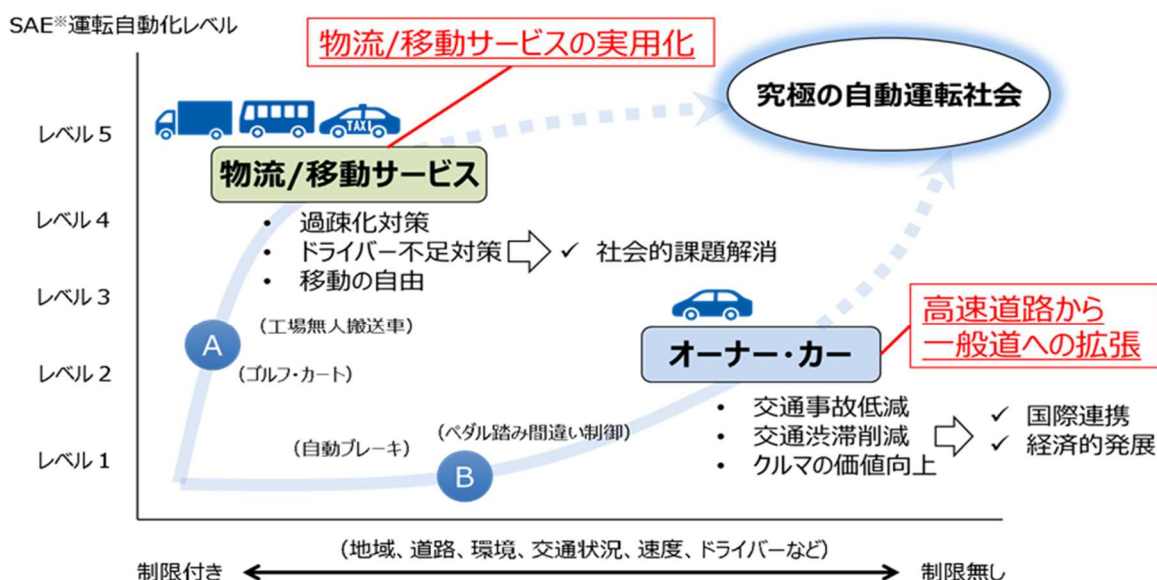
【自動運転に関する政府方針】

★ 政府目標（「官民ITS構想・ロードマップ2019」（令和元年6月7日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部等決定）の例）

「ロードマップ2019」では、自動運転に関する技術開発の進展等を踏まえることを前提に、実現を目指すべき目標時期として、次の目標やシナリオが掲げられています。

① 自家用車	2020年までに 高速道路 での レベル3 を実現
	2025年目途に 高速道路 での レベル4 を実現
② 物流サービス (トラック等)	2020年度に 高速道路（新東名） での 後続車無人隊列走行システム を技術的に実現
	2022年度以降に 高速道路（東京大阪間） で 後続車無人隊列走行システム の商業化
③ 移動サービス	2020年までに 限定地域 での 無人自動運転移動サービス（レベル4） を実現 *当面は、現在の実証実験の枠組みを事業化の際にも利用可能
	2025年以降、 全国展開

〈自動運転社会実現へのシナリオ〉



※SAE (Society of Automotive Engineers) : 米国の標準化団体

出典：内閣府 SIP 資料

【政府目標（自家用車）に関する現状】

- 改正道路交通法改正（レベル3の自動運転に対応）及び改正道路運送車両法が国会に提出され、令和元年5月に成立しました（令和2年5月までに施行予定です。）。
- 民間では、2020年頃までにレベル3の自動運転システムを備えた自家用車を高速道路で実用化する目標を掲げて、国内外のメーカーが技術開発を進めています。
- 当面、使用条件は、高速自動車国道又は自動車専用道路上での低速走行時となることを見込まれています。

【政府目標（移動サービス）に関する現状】

- 全国の各地で、様々な車両を用いて、地域に応じたサービス提供の実現を目指し実証実験が実施されています。
- 当面は、遠隔型自動運転システムを使用した現在の実証実験の枠組みを事業化の際にも利用可能とされています。

〈実験車両の例〉



（乗用車型）



（バス型）



（カート型）



（移動サービス専用型）

〈無人自動運転移動サービスのイメージ〉

